

KENPO
DAYORI

健保だより

西武健保ホームページからもご覧になれます。http://www.seibu-kenpo.or.jp

No.1045

2017.9.4

西武健康保険組合



「ジェネリック医薬品をお使いいただくために」をお配りいたします

西武健保では、9月6日（水）以降、病院や薬局などから送られてくる診療報酬明細書（レセプト）をもとに、ジェネリック医薬品を使うと薬代を減らせる方に「ジェネリック医薬品をお使いいただくために」をお配りいたします。

「ジェネリック医薬品をお使いいただくために」が届いた方はもちろん、届かない方も、ぜひこの機会にジェネリック医薬品への切り替えにご理解・ご協力くださいますよう、お願い申し上げます。

今回は、“今年の5月に処方されたお薬にどのようなジェネリック医薬品があるのか”、そして“それを利用すると、薬代をどれくらい減らすことができるのか”についてご案内しております。普段、服用している薬をジェネリック医薬品に切り替えていただくことで、皆さま一人ひとりの薬代の負担が減り、ご家庭での医療費の節約に役立つだけでなく、西武健保の医療費の節約にもつながります。



そうなんだ、一石二鳥だね



「安い」だけじゃない、「安心」して使える薬。「ジェネリック医薬品」ってなに??

テレビCMなどでも最近よく耳にする「ジェネリック医薬品」。ずばり、**新薬（先発医薬品）**と同じ**効能のある「後発医薬品」**のことです。医療機関などで処方される薬の多くは「新薬」と呼ばれるもので、研究開発に長い年月とばく大なコストがかかっているため、開発したメーカーの独占的な製造・販売が特許により保護され（特許期間は20～25年）、価格も高く設定されています。この特許期間が切れたあとに、新薬と同じ有効成分でつくられる薬が「ジェネリック医薬品」です。



現在、製造・販売されているジェネリック医薬品は、国の厳格な審査を受け、承認されたものですので、安心して使うことができます。

ジェネリック医薬品の中には、新薬発売後に開発された新しい技術を使って、“**改良**”**がされているものがあります。**大きくて飲みにくかった錠剤が小さくなったり、苦くてお子さまが飲みたがらなかった錠剤も飲みやすい味になっていたり、さまざまな工夫が施されています。

ジェネリック医薬品は、内服薬だけでなく、外用薬や点眼薬、注射薬などもあります。



ジェネリック医薬品にすると、どれくらい安くなるの??

ジェネリック医薬品のメリットのひとつは「価格」です。

今回の対象期間となった5月に悩まされる人も多い「花粉症」に処方される薬で比べてみました。

花粉症の新薬とジェネリック医薬品 自己負担の比較

代表的な飲み薬と目薬を3ヶ月間服用した場合

新薬	ジェネリック 医薬品
4,830 円	3,015 円
差額 1,815 円	

たった3カ月間で2,000円弱の差額が出ました。今回は花粉症の薬をご紹介しましたが、常に服用している薬をジェネリックに変更した場合、さらに大きな節約が期待できます。



- ・金額は薬代のみを計算した場合です（3割負担）。皆さまが医療機関の窓口でお支払いになる金額は、薬代のほかに調剤基本料などが含まれます。
- ・薬の種類によって価格が異なります。

ジェネリック医薬品を使用するには??

医療機関の受付で

“ジェネリック医薬品希望シール”を貼付した保険証を呈示し、口頭でジェネリック医薬品を希望することを伝えてください。

“ジェネリック医薬品希望シール”が必要な方は、会社担当者まで申し出てください。

診察のときに

医師から医薬品の説明を受けるときや、診察の際に、ジェネリック医薬品を希望することを伝えてください。



調剤薬局で

処方せんの「変更不可」欄に印がなければ、ジェネリック医薬品に変更することができます。薬剤師に相談してみてください。



服用している薬にジェネリック医薬品があるか知りたいときは??

西武健保のホームページ (<http://www.seibu-kenpo.or.jp/>) のトップページに『くすり検索』機能があり、キーワード欄に服用している薬の名称を入力して検索キーをクリックすると、結果一覧が出てきます。メーカーや包装コードなどから該当する薬の詳細ボタンをクリックすると、その薬が新薬なのかジェネリック医薬品なのかが分かり、新薬であれば、どんなジェネリック医薬品があるのか調べることができます。また、その薬の海外での評価や、妊娠時服用の安全性などについても調べることができます。(パスワード: seibu)



ジェネリック医薬品に変更するときは、医師や薬剤師に相談を!

症状や薬の種類によっては、ジェネリック医薬品が使えないこともあります。まずは医師や薬剤師に相談し、必ずその指示に従ってください。